

Nitto

Innovation for Customers

2024 会社案内

日東電工株式会社



新しい発想で お客様の価値創造に貢献します。

日東電工株式会社(Nitto)は1918年に、当時、第一次世界大戦により国外からの材料調達が困難となる中、電気機器に欠かせない絶縁材料の国産化を実現するという志のもと、東京大崎にて創業しました。

創業以降Nittoには多くの危機が押し寄せましたが、一つ一つの製品にNittoの持てる全てを注ぎ込み、顧客奉仕を追求することで、それらを乗り越え、現在のNittoグループの礎を築いてきました。そして常にお客様とともに歩み続け、現在では、これまで培ってきた基幹技術をベースに、「パワー&モビリティ」「デジタルインターフェイス」「ヒューマンライフ」の3つの重点分野で、さまざまな製品を提供しグローバルに事業を展開しています。

今、世の中では、新たな時代に向けて、社会課題がますます多様化・複雑化し、これまでにない速さで変化しています。このような中、Nittoグループは、ESGを経営の中心に置き、社会課題の解決と経済価値の創造を両立することを目指し、技術の強みを活かした環境・人類に貢献する製品やサービスを創出する「ニッチトップ戦略×Nitto流ESG戦略」を実践します。そして、これまで以上に人々の健やかな暮らしや持続可能な地球環境に貢献することで、世の中にとってなくてはならないESGトップ企業であり続けたいと考えています。

Nittoグループは、経営理念「新しい発想でお客様の価値創造に貢献します。」のもと、社会の変化をチャンスと捉え、驚きと感動を次々と生み出し、社会に認めていただける価値を継続的に創出してまいります。

日東電工株式会社
代表取締役 取締役社長 CEO COO

高崎 秀雄



あらゆるところで生活を支える



住宅・住宅設備

住機能の高度化、太陽電池、蓄電池、家電製品の統合管理化など、さまざまな要望に対応すべく、住宅材料の供給や部材化を行っています。



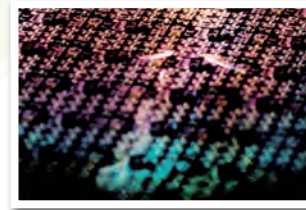
医療

核酸医薬品の原薬合成では世界のトップシェアを維持。粘着技術に応用した経皮吸収医薬品では長い経験に基づく確かな技術が高く評価されています。



包装材料

梱包用テープ、はがした時に糊が残りにくい仮止めテープ、一度はがしたことがわかるセキュリティーテープなど、多様なテープを取り揃えています。



電子デバイス

半導体/電子部品製造プロセス材料、光デバイス封止材料、HDD周辺材料など、幅広い品揃えで製造工程や各部品に貢献しています。



社会インフラ

海水淡水化や排水再利用など、水資源保護のためのろ過膜の製造、新エネルギー分野においては、風力発電用材料の提供を行っています。



自動車・他輸送機器

軽量化、環境対策車のパワーモジュールの進化、安全・快適性を追求した電装化など、新たなニーズに新たな付加価値でお応えしています。



消費財・生活関連材

粘着技術や多孔化技術などを駆使し、暮らしを快適にする各種ハウスウェアや、オムツに代表される衛生用品用材料をお届けしています。



家電・電子機器

機器を汚染する不純物を殆ど含まない極薄シール材、ねじ固定に匹敵する強度を持つ両面テープなど、多様な用途に適した製品をお届けしています。



素材

金属板・樹脂板・ガラス板などの素材加工の分野に、表面保護フィルムをはじめとした数多くの製品を提供しています。



ディスプレイ

ディスプレイ、タッチパネル用各種光学フィルム、粘着フィルムにおいて、高画質化、長寿命化、薄型軽量化などへのソリューションを提供しています。

Nitto

Nitto

Nitto

Nitto

Nitto

Nitto

Nitto

Nitto

Nitto

Nitto

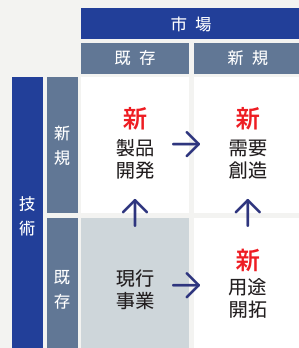
Nittoグループの強み

Nittoグループの企業文化の一つである顧客密着。それを基本とした行動指針を軸に企業活動を展開していくことが、私たちの強みであり、特徴です。

三新活動

新用途開拓と新製品開発に
取り組むことで
新しい需要を創造する
Nittoグループ独自の
マーケティング活動
「三新活動」

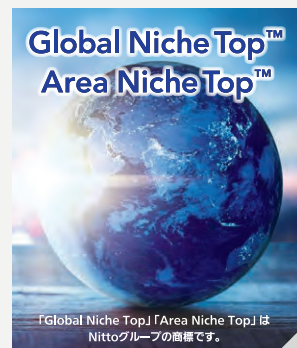
既存製品の「新」しい用途を開拓して、そこに新たな技術を加える。もしくは新しい技術を用いて「新」製品開発したうえでその用途を広げる。こうして「新」しい需要を創出する。3つの「新」を重ねて進化し続けることが、50年以上にわたって繰り返されてきたNittoグループ独自のマーケティング活動「三新活動」の原理です。



ニッチトップ戦略

自社に優位性がある
ニッチ市場において
独自の技術で
トップシェアを目指す

成長(変化)するマーケットにおいて、グループ固有の技術を活かすことができ、かつ優位性を発揮できるニッチな分野へ経営資源を投下する、独自の集中・差別化戦略がニッチトップ戦略です。特に、Nittoの技術の強みを活かせるのがGlobal Niche Top™戦略、各国エリアの市場において、特有のニーズに応じた製品を投入してトップシェアを狙うのがArea Niche Top™戦略です。



コア・テクノロジー

8つの基幹技術を
組み合わせ
お客様のニーズに合った
製品を開発

Nittoグループの基幹技術は、創業以来培われてきた技術を複合・発展させることで、幅広い領域へ展開されてきました。特に、Nittoの技術の強みを活かせる「パワー & モビリティ」「デジタルインターフェース」「ヒューマンライフ」の分野や、それぞれの交わる領域で基幹技術を掛け合わせ、「なくてはならない」製品を開発します。



企業文化

大切にすべきもの、
判断基準を示す
価値観を明文化した
「The Nitto Way」

Nittoグループが目指す未来の姿を実現するために、グループ従業員が大切にすべきもの・判断基準を示す価値観を明文化したものが「The Nitto Way」です。「The Nitto Way」を理解し、安心、安全に生き生きと働くことで、Mission、Visionの実現を目指します。



NittoグループのR&D

Nittoグループでは、事業部R&DとコーポレートR&Dが一体となって、研究開発に取り組んでいます。コーポレートR&Dでは研究開発本部、新規事業本部の2つの本部を軸とし、これらと技術知財戦略本部が密接に連携し、将来の事業とそれを支える技術を育成しています。

研究開発と人財育成の融合施設「inovas (イノヴァス)」

2016年に開設したinovasは、研究開発機能だけでなく、顧客との共創のきっかけを探るイノベーション機能と人財育成機能を兼ね備えています。inovasという名称は「innovation」とラテン語で「新星」の意味をもつ「nova」の組み合わせからなり、イノベーションにより無数の新星(事業の軸)を生み出したいという想いが込められています。



グローバル R&D 体制

グローバルに研究開発拠点を配置し、各エリアの特徴を活かした現地主導のR&D活動を推進しています。幅広い知識や技術・手法を融合し、新しい価値の連鎖を生み出すことで、独自の技術、事業シーズを確実に形にしていこうと目指しています。



TOPICS

畜産業界における ネガティブエミッションシステムの導入に向けて

エア・ウォーター株式会社(本社:大阪市)と協業で、CO₂と水素から効率的にギ酸を製造する変換技術によって、家畜ふん尿バイオマス由来の原料を用いたカーボンネガティブなギ酸生成に取り組んでいます。「しかおい水素ファーム※(北海道鹿追町)」内の水素製造プラントに製造設備を併設し、2024年4月より実証を開始しました。生成されたギ酸は、酪農地域で乳牛の飼料(牧草サイレージ)の劣化を防ぐ添加剤などに利用され、CO₂の有効活用による持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※エア・ウォーター北海道株式会社と鹿島建設株式会社の合弁会社 (2023年12月19日公開)



ギ酸製造設備

Nittoグループの主な製品

Nittoグループは1918年の創業より、技術の複合により数多くの製品を創り出し、時代の変化に隠ることなく、培った技術や製品を応用してさまざまな分野に事業を展開してきました。



養生テープ 建築塗装用マスキングテープ

施工用材料



多層ラミネート材 電気絶縁用ビニルテープ

電気絶縁材料



電子光学部材用表面保護材

光学プロセス材料



光学用透明粘着シート 低VOC両面接着テープ

接合材料



超高分子量ポリエチレン多孔質フィルム 現場発行型バーコードラベルシステム

一般プロセス材料



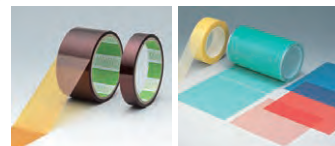
精密回路付き薄型金属ベース基板 アクティブオプティカルケーブル

回路材料



ふっ素樹脂粘着テープ ふっ素樹脂多孔質膜

エンジニアリングプラスチック製品



ポリイミド粘着テープ 熱はく離シート

電子部品・プロセス材料



偏光板 透明導電性フィルム

光学材料



レーザー加工用表面保護材 自動車用塗膜保護材

表面保護材料



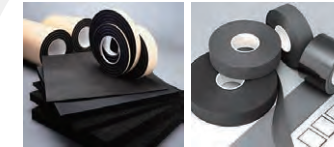
かんたんテーピングシリーズ 医療用サージカルテープ

ヘルスケア製品



核酸医薬原薬受託製造 核酸合成用ビーズ

メディカル製品



発泡シール材 薄層クリーンフォーム

シーリング材料



光半導体封止用透明エポキシ樹脂 感圧ダイシングテープ一体型ダイアタッチフィルム

半導体関連製品



極薄両面接着テープ

精密電子部品材料



海水淡水化用逆浸透膜

メンブレン製品



STALOGY™ COCO

コンシューマ製品



OPP粘着テープ テープ貼り機

包装システム製品

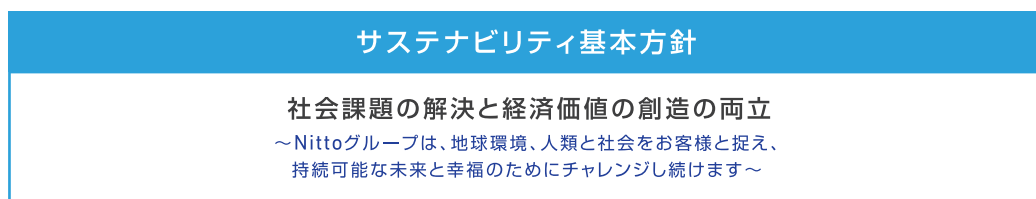
Nittoグループの経営戦略

Nittoグループは、ESGを経営の中心に置くとの強い決意のもと、事業活動を通じた「社会課題の解決と経済価値の創造の両立」をサステナビリティ基本方針に掲げています。その実践にあたり、「ニッチトップクリエイターとして驚きと感動を与え続ける『なくてはならないESGトップ企業』」を2030年ありたい姿としました。この実現に向けて、中期経営計画「Nitto for Everyone 2025」の遂行を通じて、財務目標と未財務目標の達成に向けた取り組みを進めています。

Nittoグループの使命



ESG経営の基本姿勢



Nittoグループの長期目標



3カ年の実行計画



Nitto流 ESG経営

NittoグループのESG経営とは、PlanetFlags™/HumanFlags™の開発と提供によって社会課題を解決し、ニッチトップソリューションに発展させることで経済価値を創造することです。これは、果敢にチャレンジするNitto Personの活躍と環境に配慮したモノづくり、それらを支える強固で健全な経営基盤によって成し遂げられます。Nittoらしいアプローチでお客様に驚きと感動を提供し「なくてはならない」存在を目指します。



未財務を財務へ

Nittoグループでは、ESG活動はコストではなく事業(投資)であるという考えのもと、「未財務」活動を「財務」に、さらに企業価値へと転換することを目指して推進しています。



Company Profile

会社概要

社名：日東電工株式会社
 設立：1918年10月25日
 本社：大阪市北区大深町4番20号
 グランフロント大阪タワーA
 資本金：267億円
 東京証券取引所 プライム市場
 株式略称<日東電>

決算期：3月
 売上高(連結)：9,151億円(2024年3月期)
 (単体)：5,186億円(2024年3月期)
 従業員(連結)：27,426名
 (単体)：6,941名

(2024年3月末時点)

役員

代表取締役 取締役社長：高崎 秀雄
 取締役 専務執行役員：三木 陽介
 取締役 専務執行役員：伊勢山 恭弘
 取締役 専務執行役員：大脇 泰人
 取締役 常務執行役員：赤木 達哉
 取締役(非常勤)：古瀬 洋一郎
 取締役(非常勤)：Wong Lai Yong
 取締役(非常勤)：澤田 道隆
 取締役(非常勤)：山田 泰弘
 取締役(非常勤)：江藤 真理子
 監査役(常勤)：徳安 晋
 監査役(常勤)：高柳 敏彦
 監査役(非常勤)：小橋川 保子
 監査役(非常勤)：園 潔
 監査役(非常勤)：服部 剛

常務執行役員：Sam Strijckmans
 常務執行役員：藤岡 誠二
 常務執行役員：土本 一喜
 常務執行役員：堀川 幸裕
 上席執行役員：右近 敦嗣
 上席執行役員：李 培源
 上席執行役員：佐藤 紀夫
 上席執行役員：城 勝義
 上席執行役員：青木 信行
 上席執行役員：明間 健二郎
 上席執行役員：林 康裕

執行役員：吹田 真悟
 執行役員：寺田 善彦
 執行役員：金川 仁紀
 執行役員：杉野 洋一郎
 執行役員：村上 奈穂
 執行役員：蒔野 直樹
 執行役員：萩原 陸宏
 執行役員：松本 純一
 執行役員：片山 博之
 執行役員：塩見 太
 執行役員：中村 圭
 執行役員：戸塚 健之

(2024年6月21日時点)

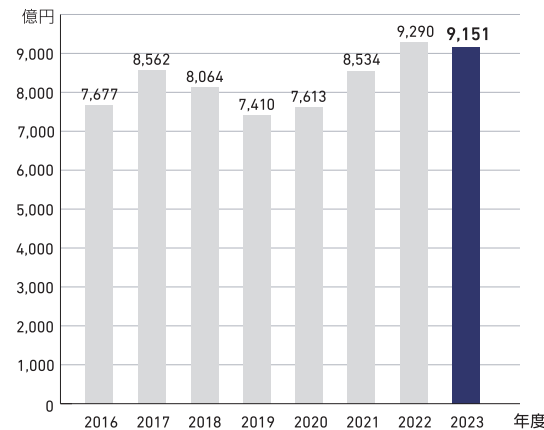
※ 取締役のうち、Wong Lai Yong氏、澤田道隆氏、山田泰弘氏、江藤真理子氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

※ 監査役のうち、小橋川保子氏、園潔氏、服部剛氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

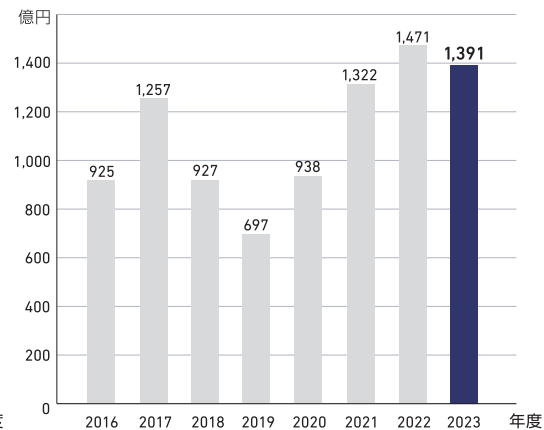
(2024年7月1日時点)

連結業績

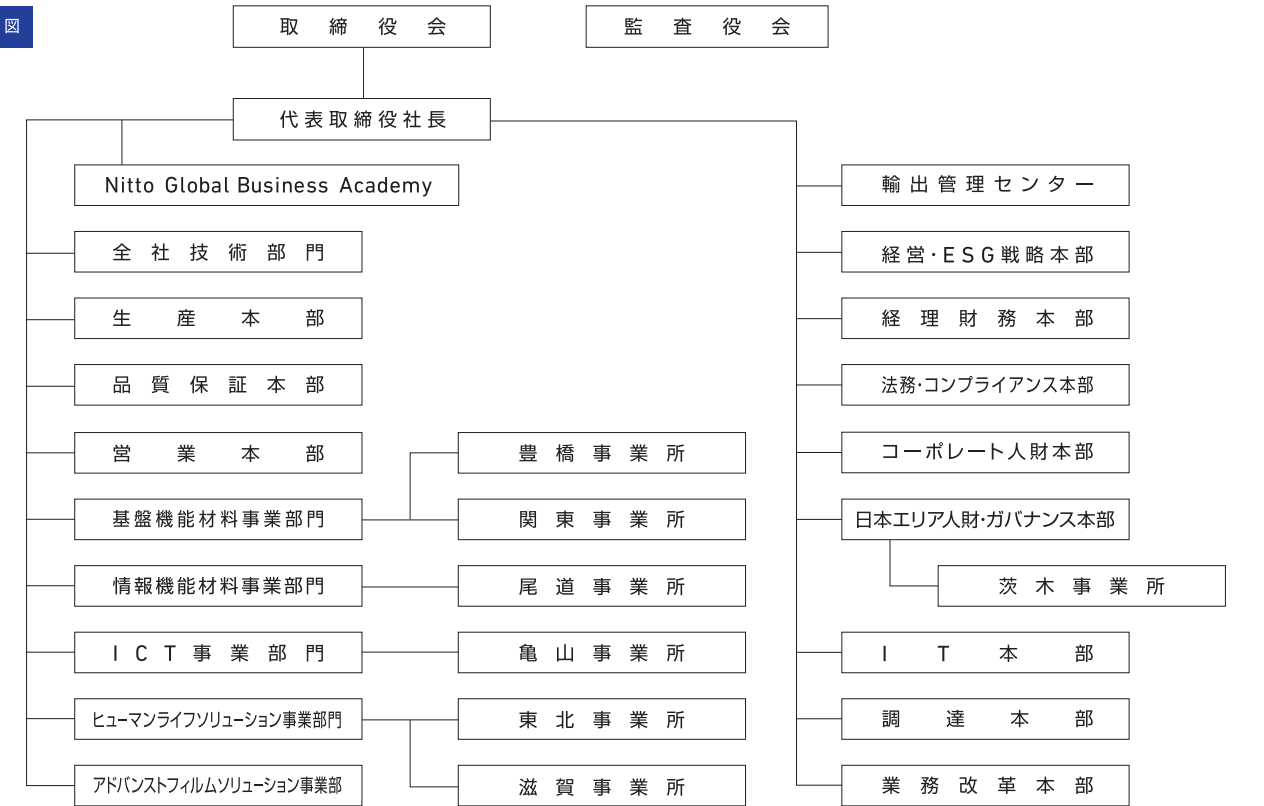
売上高



営業利益



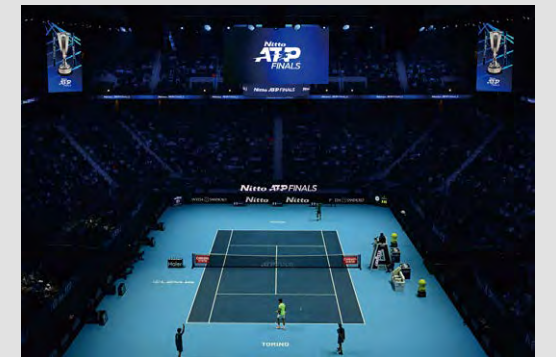
組織図



TOPICS

NittoはATPファイナルズの タイトルパートナーです

Nittoは男子プロテニスシーズンのクライマックスを飾るイベントである「Nitto ATPファイナルズ」のタイトルパートナーを2017年より務めています。現在ATPとのパートナーシップ契約を2025年まで延長し、新たにATPツアーのゴールドパートナーおよびオフィシャルアスレチックテープパートナーに就任し、協賛活動を通じてグローバル企業としてさらなる飛躍を遂げ、驚きと感動を次々と提供していきます。



©Corinne Dubreuil / ATP Tour

Nittoグループのグローバル展開

各拠点のNittoグループ従業員が一体となり
お客様の価値創造に貢献します。



米州

- 米州日東
- 日東電工アジア
- ハイドロノーティクス
- キノベートライフサイエンス
- 日東アジアファーマサービス
- 日東バイオファーマ
- 日東電工テクニカル
- 日東イノベーションズ
- 日東バンドテクノロジーズ
- 日東アドバンストコンポーネンツジャクソン
- 日東電工メキシコ
- 日東電工ラテンアメリカ 他

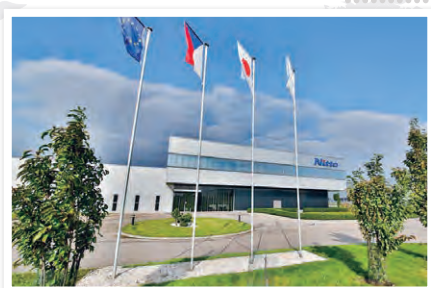
東アジア

- 日東電工(中国)投資有限公司
- 日昌(大連保税區)国際貿易有限公司
- 蘇州日東邁特科思電子有限公司
- 日東電工(上海松江)有限公司
- 上海日東光学有限公司
- 日東(中国)新材料有限公司
- 日東新能源(蘇州)有限公司
- 日東高新材料(太倉)有限公司
- 東莞日昌精密電子有限公司
- 日東邁特科思科技(深圳)有限公司
- 日東電工(佛山)有限公司
- 深圳日東光学有限公司
- 日東電工(香港)有限公司
- 香港日昌有限公司
- 日東精密回路技術(深圳)有限公司
- 日東材料科技(成都)有限公司
- 台湾日東電工股份有限公司
- 台湾日東光学股份有限公司
- 台湾日東股份有限公司
- 韓国日東オプティカル株式会社
- 韓国日東電工株式会社
- 日東電工ニトムズ韓国株式会社 他



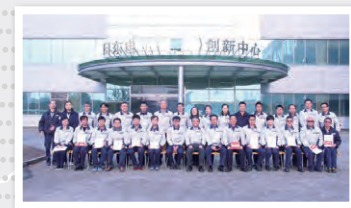
16社

欧州



24社

東アジア



欧州

- 日東 EMEA
- 日東ベルギー
- 日東ベント
- 日東オートモーティブトルコ
- 日東電工イギリス
- 日昌ハンガリープレジジョン
- 日東電工チェコ
- 日東ドイツ
- 日東フランス
- 日東スカンジナビア
- 日東イタリア
- 日東ポーランド
- 日東ロシア
- 日東アドバンスフィルムグローナウ
- 日東アドバンストノンウーブンアスカニア 他

南アジア

- 日東電工シンガポール
- 日昌シンガポール
- 日東電工アジアテクニカルセンター
- 日昌プレジジョン(タイランド)
- 日東マテックスタイランド
- 日東電工マテリアルタイランド
- 日東電工マテリアルズマレーシア
- 日昌プレジジョンマレーシア
- 日東電工テープマテリアルズベトナム
- 日昌プレジジョンベトナム
- 日東ベトナム
- 日東電工ベトナム
- 日東電工フィリピン
- 日昌プレジジョンフィリピン
- 日東電工オーストラリア
- 日東マテリアルズインドネシア
- 日東電工インド
- 日東キャプティブ 他

18社

日本



19社

南アジア

日本

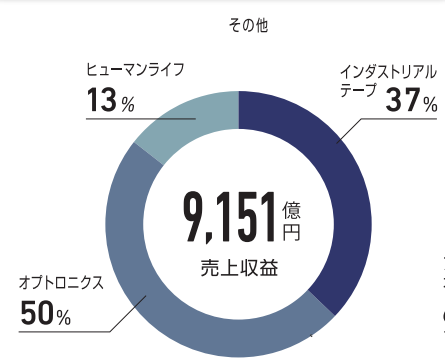
- 日東電工株式会社
- 株式会社ニトムズ
- 日東電工ベースマテリアル株式会社
- 日昌株式会社
- マテックス加工株式会社
- 日東シンコー株式会社
- 日東エルマテリアル株式会社
- 日東精機株式会社
- 埼玉日東電工株式会社
- 日東電工メディカル製造株式会社
- 日東ビジネスエキスパート株式会社
- 日東電工ひまわり株式会社
- 日東ひまわり茨木株式会社
- 日東ひまわり尾道株式会社
- 日東ひまわり亀山株式会社
- 日東ひまわり関東株式会社
- 日東ロジコム株式会社
- 株式会社日東分析センター

Nittoグループ 90社
(2024年7月1日時点)

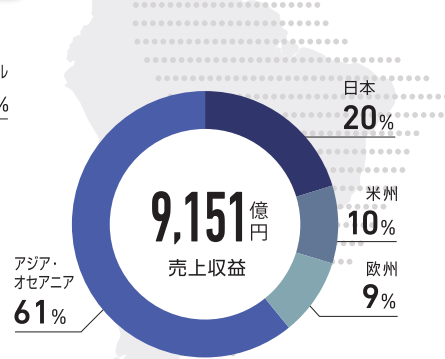


13社

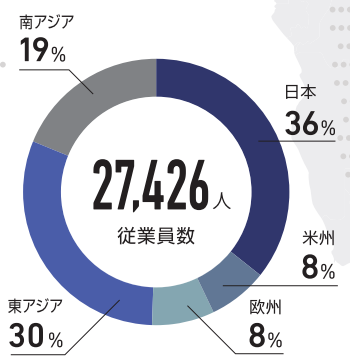
米州



セグメント別 売上収益



エリア別 売上収益



エリア別 従業員比率



グループ会社詳細
https://www.nitto.com/jp/ja/about_us/corporate/group/

この冊子は、日東電工の特例子会社、日東電工ひまわり株式会社で印刷・製本しています。


※ 構成比率は、全社・消去を含まずに算出しています。 ※ 構成比の数値は小数点以下を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%とならない場合がございます。

日東電工株式会社

〒530-0011

大阪市北区大深町4番20号 グランフロント大阪タワー A

<https://www.nitto.com/jp/ja/>

nitto 

カタログコード：01000 2024年8月発行



1908 F 50 (L) (D)

2009 R 10 (NH)

2408 R 10